(別添) 1 / 3

2019年 2月28日 NITE ( ナ イ ト )

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所

# **News Release**

## 誤った使い方が火災の導火線に! ~配線器具や充電ケーブルで火災、やけどが発生~

## 1. 事故の発生状況

2013 年度から平成 2017 年度までの 5 年間に NITE に通知された製品事故情報 $^{*1}$  のうち、配線器具に関する事故は、北陸 3 県(富山県、石川県及び福井県)で 17 件 $^{*2}$  あり、充電ケーブルに関する事故は 0 件でした。

## (1) 県別の年度別事故発生件数

配線器具に関する県別の年度別事故発生件数を表1に示します。

表 1 配線器具に関する県別の年度別事故発生件数(2013~2017年度)

発生年度			富山県	石川県	福井県	合計
2013 年度			0	2	0	2
2014 年度			1	2	0	3
2015 年度			2	2	2	6
2016 年度			1	3	0	4
2017 年度			1	0	1	2
合	計	事故件数	5	9	3	17
		火災件数	[2]	[7]	[3]	[12]

## (2) 県別の被害状況別事故発生件数

配線器具に関する県別の被害状況別事故発生件数を表 2 に示します。

表 2 配線器具に関する県別の被害状況別事故発生件数(2013~2017年度) ※3

X = H01/KH1X(1-1X)									
被害	<del>!</del> 状況	富山県	石川県	福井県	合計				
	死亡	0	2	0	2				
人的被害	重傷	0	0	0	0				
	軽傷	0	0	0	0				
****	拡大被害	5	4	2	11				
物的被害	製品破損	0	3	1	4				
被害	なし	0	0	0	0				
合	計	5	9	3	17				

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重 大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

<sup>※2:</sup> 重複、対象外情報を除いた事故発生件数



※3: 表 2 において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、 物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物など にも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

### 2. 配線器具の事故事例

- ①トラッキング現象による事故
- 2016 年 1 月 (福井県、男性、40 歳代、製品破損)

#### 【事故の内容】

延長コードのコードコネクターボディが焼損した。

#### 【事故の原因】

湿気が高く、埃が多い環境下で使用していたため、延長コードの刃受け金具間に異物が付着して 絶縁性が低下し、トラッキング現象が生じて焼損したものと考えられる。

## ②トラッキング現象による事故

- 2016年2月(富山県、性別年齢不明、拡大被害)

#### 【事故の内容】

マルチタップ付近から出火し、周辺を焼損した。

## 【事故の原因】

マルチタップに照明器具の電源プラグを長期間接続したまま放置していたため、接続部に埃等が 堆積し、トラッキング現象が生じて焼損したものと考えられる。

- ③延長コードのコネクターボディ部の設計不良による事故(リコール製品の事故)
- 2016 年 4 月 (石川県、性別年齢不明、製品破損)

#### 【事故の内容】

延長コードを使用したところ、コードコネクターボディの根元が断裂し、火花が出た。

#### 【事故の原因】

プロテクター部の樹脂材料(塩化ビニル)の柔軟性が低いこと及びプロテクター部の形状、肉厚の影響等により、コードとの境界部に集中的に曲げ応力が加わり、断線・スパークが生じたものと考えられる。

#### ④最大消費電力を越えた使用による事故

・2016年6月(石川県、性別年齢不明、拡大被害)

#### 【事故の内容】

店舗で使用されていた延長コード及び周辺が焼損した。

#### 【事故の原因】

延長コードには接続可能な最大電力(1500W)を超えて多数の電気製品を接続(最大約 2325W) し使用していたため、過電流により刃受金具が異常発熱して出火したものと考えられる。

なお、本体表示には「1500Wまで使用可能」の旨、記載されていた。



- ⑤コネクターボディ部に水がかかって発生した事故
- ・2017年10月(富山県、性別年齢不明、拡大被害)

#### 【事故の内容】

延長コードのコードコネクターボディ付近から発煙し、接続していた延長コードのプラグが焦げた。 【事故の原因】

延長コードを水槽の近くで使用したため、水槽の水が掛かってコードコネクターボディ内部でトラッキング現象が生じ、発煙・焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「水の掛かる所では使用しない。感電、火災の原因となる。」旨、記載されていた。

#### 3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。 なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」+「NITEのロゴ」として ください。

> (本件に関する問い合わせ先) 〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1 独立行政法人製品評価技術基盤機構 北陸支所 製品安全技術課 担当者 樋口、矢代

> > 電話:076-231-0435